

祈りの幕が下りる時 (2017)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ミステリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 119分

初公開日 2018/01/27

公開情報 東宝

映倫 G

【キャッチコピー】

事件の謎は、俺。

俺なのか――

さらば新参者――

【解説】

日本橋署に異動してきた新参者の刑事・加賀恭一郎の活躍を描く東野圭吾原作、阿部寛主演の“新参者”シリーズの劇場版第2弾にして“新参者”シリーズとしては完結編となるミステリー・ドラマ。同じ頃に発生した2つの殺人事件の捜査に乗り出した主人公・加賀恭一郎が、事件の真相に迫る中で自らの過去とも向き合っていくさまを、親子の絆を巡る人間ドラマを織り交ぜ描き出す。共演は溝端淳平、田中麗奈、山崎努らレギュラー・キャストのほか、松嶋菜々子、伊藤蘭、キムラ緑子、烏丸せつこ、小日向文世。監督はTV「半沢直樹」「下町ロケット」などの演出を手がけ、映画は「私は貝になりたい」に続いて2作目となる福澤克雄。

ある日、東京都葛飾区小菅のアパートで女性の絞殺死体が発見される。被害者は滋賀県在住の押谷道子で、現場アパートの住人・越川睦夫は行方不明となっていた。松宮脩平ら警視庁捜査一課の刑事たちが捜査を進めるが、道子と越川の接点がなかなか見つけれられない。やがて捜査線上に舞台演出家の浅居博美が浮上してくるものの、事件の核心はいまだ掴めぬまま。そんな中、越川の部屋から日本橋を囲む12の橋の名が書き込まれたカレンダーが発見される。それを知った加賀恭一郎は激しく動揺する。同じメモが、かつて加賀と父を捨てて蒸発した母・百合子の遺品の中にもあったのだった。自らがこの事件の最大のカギであることを悟り戸惑いを隠せない加賀だったが…。

【クレジット】

監督	福澤克雄
エグゼクティブプロデューサー	那須田淳 平野隆
プロデューサー	伊與田英徳 藤井和史 川嶋龍太郎 露崎裕之
共同プロデューサー	岡田有正
原作	東野圭吾
脚本	李正美
撮影	須田昌弘

『祈りの幕が下りる時』（講談社文庫刊）

美術	大西孝紀		
編集	朝原正志		
音響効果	谷口広紀		
音楽	菅野祐悟		
音楽プロデューサー	志田博英		
主題歌	JUJU	JUJU	『東京』
照明	鋤野雅彦		
録音	松尾亮介		
VE	塚田郁夫		
記録	古谷まどか		
VFX	小嶋一徹		
助監督	北川学		
出演	阿部寛		加賀恭一郎
	松嶋菜々子		浅居博美
	溝端淳平		松宮脩平
	田中麗奈	Rena Tanaka	金森登紀子
	キムラ緑子	Kimura Midoriko	浅居厚子
	烏丸せつこ		宮本康代
	春風亭昇太		大林
	音尾琢真		
	飯豊まりえ		浅居博美 (20歳)
	上杉祥三		
	中島ひろ子		
	桜田ひより		浅居博美 (14歳)
	須田邦裕		
	梅沢昌代		
	井上肇		
	山本圭祐		
	牛丸裕司		
	笑福亭鶴松		
	宮川サキ		
	林加奈子		
	信江勇		
	滝裕次郎		
	土居志央梨		
	谷恭輔		
	市村涼風		
	潤浩		
	岩田丸		
	ぼくもとさきこ		
	西井隆詞		
	祖父江進		
	天野勝弘		
	常石梨乃		
	渡辺知晃		

平口泰司
ドキタイジ
及川光博
伊藤蘭
小日向文世
山崎努

田島百合子
加賀隆正